4、不登校と子どもの心

(一) はじめて教室にはいった

⑫

いけた　　二年　H・H

きょうしつに　はじめて　はいった
一がっきには、ようむいんしつにいてた
けどニがっきには　いけた
うれしかった
みぎの足を入口にのせたら左足もうごいた
べんきょうもできるしたのしいし
なんでいかなかったんだろう
いすにすわったとき「やっといけた」と思った
しゅうだんとうとうもいった
うれしかった
ゆめでもきょうしつと
しゅうだんとうとういったゆめを見た
「ゆめでもおんなじや」と思った
おかあさんだって
「よかったなあ」とゆって、くれました。
けど　やすみが2日あると
足がとまってしまう
やすみが一日だったらいけた
こんどやすみ2日あるけどいきたい。
どうして
2日あるときょうしついくのとまるのかな
三がっきつづくといいな。
なんで　足うごいたのかなぁ
しゅうだんとうこうもなんでいったのかな
いけて
心の中で「やったぁ」と思った

⑬

ともだち　　Y・T

Hちゃんは　なかなかきょうしつに　はいれない
一年からむかえにいっている
でも　ほとんどきょうしつにはいれない
雨にぬれても　むかえにいった
どうしてはいれないの
3年になった　クラスがいっしょだった
うれしかった
一がっきも　まだはいれなかった
ないてはいっていった
どうしてかな　と思った
むかえにいった
でもようむいんしつにしかはいれない
一がっきは　おわった
二がっきで「かいきょうしつにはいった
二かいめも　はいった
それからずっとはいっている
でも　おかあさんときていた
きゅうにとうとうはんでくるようになった
こんどは　Hちゃんがまっていてくれた
うれしかった

⑭

お母さん

山田　ひろし(9)

……
それに、ぼくが朝、お母さんが、
「ひろし、早くおきなさい」
と言っておこさはる。ぼくは、
「うるさい。学校、今日休む」
と言ってねる。そしたらお母さんは、たたいたり、けったりしはる。それは、ぼくが学校に行かない、と言うからだと思う。ぼくはそれでもふとんをかぶって、また、
「うるさい」
と言ってねる。こんなことをつづけていたら、ぼくもますます学校に行きたくなくなるし。お母さんも体がわるくなる。
だから、これからは学校に行くようにして、お母さんにも心配をかけないようにします。
「お母さん、心配かけてごめんなさい」

⑮

ぼくは、この一年間で力とかが、いっぱいついたと思う。たてわりいいんで色（ブロック）をまとめたりする力がついたし、うんえいいいんでは、人のまえで、なんでもはなせるようになったり、けんかいえて、すごにうかぶようになった。でも、まだ先生とかお母さんとかにめいわくをかけているけど、がんばっていきたい。そして六年をひきついで、せいいっぱいがんばっていきたいです。

⑯

「けがれる　あっちいって」

3年　中田　好子（仮）

「Mちゃんいこ」
と　わたしは　体育で　運動場に二人でいこうとして
いた。その時　E君は
「Mがいたらまけるわ」
とか
「4人のほうが　かつわ」
と　いったはる。ポートボールのチームのことです。
とっても　Mちゃんが　かわいそうです。体育が
おわって　きがえてから　E君がまた　Mちゃんに
きずつくことをいったりしはった。わたしは
「なんで　Mちゃんだけいって　おもしろがっていう
のかなあ」
と思いました。でも　E君にも　いいとこもあります。
Mちゃんが　こまってはる時　たすけて　あげたり
時々やさしく話しかけたり　いろいろしんせつにした
はる時もある。
これから　Mちゃんに　やさしいことをしてあげて
下さい。

⑰

5、いじめ問題

毎日、生きているのか死んでいるのか分からない（　　中学2年女子）

私は、今、中学2年生の女子ですが、昨年の1学期いじめを受け、1年近く学校拒否におちいっていました。

昨年の1学期、私は同じクラスの女子（女子校でした）2名に、服装や髪型が「ダサイ」と言われ続けました。言い方が陰湿で、直接私に向かって言うのではなく、休み時間や昼休みに廊下ですれ違った時わざと「ダサイ」と聞こえるように言うのです。私も初め相手にしていませんでしたが、くり返し言い続けるので、だんだん気がめいりはじめ、学校を休みがちになってきました。

私は両親に学校での「いじめ」について何も語っておらず、そんな私を両親は心配してか、学校の担任に電話をかけ、担任から「学校に適さない子」という目で見られはじめました。（少なくとも私にはそう思えました。）

何回も言い続けられて、そのうち私は、私以外のみんなが私を「ダサイ」と思っているんだ。みんな私を馬鹿にしている……、という精神状態になり、学校に行っても下を向き、みんなの視線が気になり、授業中も落ち着けなくなってきました。学校に行ってもビクビクとたえず下を見ている生活が2ヶ月ぐらい続きました。9月の学校の始業式の日、私はビクビクして下を向いて1日過ごすよりは死んだ方がましだと思い、かぜ薬を通常の使用量の25倍くらい飲みましたが、そんなもので死ねるはずもなく、母に病院につれていってもらう胃洗浄をしてもらいました。

それからの1年は私にとって本当に地獄のようでした。“みんな私を馬鹿にしているんだ。私はみんなと違って変なんだ”と思い込み、外に出る事はおろか、窓の側さえ近づけませんでした。この様に勉強もせず、学校を休み続けている私を理解できない両親との対立も深まり、私は学校に行かず、私だけが取り残されてしまうという焦りと孤独で本当に毎日、生きているのか死んでいるのかわかりませんでした……」（P76～77）

⑮

27　社会面　17版

大津いじめ訴訟

元同級生「謝りたい」

地裁傍聞　傷つけた認識否定

大津市でいじめを苦にして自殺した中学2年の男子生徒（当時13）が2011年10月に自殺し、遺族が同級生3人と加害者とされる男子生徒の計8人に計3000万円の損害賠償を求めた訴訟で、大津地裁（鎌田義則裁判長）は7日、元同級生の3人と男子生徒の最後の公開審理を行った。

元同級生は、いじめとされる行為について、一方的なものではなく仲間内はやっていた遊びだったなどと証言。一方で、「男子生徒が生きていたら、言いたいことを言いたいとおもう」と話した。

原告側弁護士は終了後、元同級生からの謝罪の言葉は実質的に初めてで、遺族はどう受け止めたらいいのか戸惑っている」と話した。

元同級生は五つの行為があったとされ、原告側は中学2年の五つの行為が発端とされている。

元同級生は五つの行為のうち、体育祭で男子生徒にハチの死骸を食べさせようとしたり、はちまきで縛った行為について「無理やり、無理っていたとしながら、じゃんけんで負けた人が罰ゲームをやる遊びで、他の人も罰ゲームをしたと主張した。

トイレで殴ったことは「他の生徒と区別なく言われて遊び遊びされる男子生徒の間柄が来ないから」「殴ったから殴り返せ」と言ってやった」と振り返った。これらの行為が男子生徒を身体的、精神的に傷つけた認識はあるかと問われると「ないです」と答えた。

原告である男子生徒父親は「事件から2年間、男子生徒のことを忘れたことはない」と話した。

元同級生からの謝罪の言葉は実質的に初めてで、遺族はどう受け止めたらいいのか戸惑っている」と話した。

⑲

これも　悩んでる　時は

私は死んで　るでしょう。……部活のみなさん、特に○○さん、○○さん、○○さん、○○さん、本当に迷惑ばかりかけてしまったね。これで、お荷物が減るからね。

もう、何もかか（も）がんばる事に疲れました。それでは　さようなら。」（棒点は筆者）

6、子どもの自殺

年10月6日、　大学で開かれた『東海近畿研究サークル合同研修会』パネルディスカッションで自殺した少女の親戚で出身校の教師も「まじめで責任感の強い子」と語っていましたが、少女はクラス内の執拗ないじめが続く中で「もう、何もかも、がんばる事に疲れました」と、4人の同じクラス内のいじめた子どもとの関係だけでなく「もう、何もかも」と、自分の周り全ての人間関係の中、「がんばることに疲れました」と、抑うつ状態になって自殺したのではないでしょうか。

No3